

# With

第25号(2025年度NO.5) 令和8年1月29日(木)発行

新年を迎えました。昨年中も、地域の皆様やおしま学園分校を応援して下さる皆様と一緒に、たくさんの教育活動に取り組むことができました。ありがとうございます。今年も子どもたち一人一人が地域で力を発揮できる、そして地域づくりのために役立つコミュニティ・スクールを目指して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

12月22日(月)、第3回学校運営協議会(分校部会)を開催しました。今回は、学校と地域の連携・協働活動「Withプロジェクト」の各学部の取組やトラピスト通り並木道ライトアップ見学の取組について、各担当より報告を行いました。熟議では、「次年度のCSへ向けて、子どもたちの成長と地域の願い」をテーマに意見交流が行われました。今号では、第3回学校運営協議会の内容について、お知らせいたします。

## 第3回学校運営協議会(分校部会)の開催

### ■学校と地域の連携・協働活動「Withプロジェクト」活動報告

#### 1 絵本の読み聞かせ(小学部)



Withプロジェクトが開始されてから例年お世話になっている、北斗市読み聞かせサークル「えくぼ」に依頼し、読み聞かせ会を行いました。大型絵本、紙芝居、パネルシアターなど様々な絵本を準備していただき、児童の視線は釘付けでした。絵本をただ座って読むだけでなく、一緒に手遊びをしたり、キャラクターが絵本の中から飛び出すなど、子ども達の興味関心を集めるように工夫されているので、児童も飽きることなく活動に参加することができていました。「えくぼ」様、ありがとうございました。

#### 2 地域清掃(中学部)

今年度も管理人の方の御協力の下、石別住民センターの清掃活動を行う予定でしたが、熊の出没が多いことから移動に危険が伴うため、中止となりました。今回のCSでは、地域の清掃を行うために日々どのような清掃活動を作業学習の中で行っているのかを発表しました。次年度に向けて地域のために活動する経験や、地域の方に「ありがとう。」と言っていただけの経験をするために、様々な活動に日々取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。



#### 3 海浜清掃、自閉症啓発イベントへの参画(高等部)

今年度は、熱中症対策や熊の出没が頻回なため、海浜清掃の実施機関が短いこともあり地域の方と御一緒した活動が難しいこともありましたが、一年間で49袋のゴミを集めることができました。次年度も機会がありましたら一緒に活動できればうれしく思います。また、例年ポラリスとおしま学園分校の生徒たちが制作したブルーキャンドルと世界自閉症啓発デーの紹介カードを協力店や学校周辺地域に置いてもらう活動報告をしました。次年度に向けてどのような御協力をいただけるかなどのアイデアを出していただきました。ありがとうございました。



#### 4 トラピスト通り並木道ライトアップ

今年度も北斗市観光課の方に来校していただき、一緒にキャンドル作りを行いました。キャンドルは一人2本ずつ作成し、その他学習の中でライトシェードも制作しました。ライトアップ当日は、観光課職員の方たちにサンタの格好をして迎えていただき、点灯式を行いました。毎年経験させていただくことで、キャンドルに火を灯すことができる児童生徒が増え、たくさん火を灯すことができました。自分たちが作った数よりも多くのキャンドルが用意されるなど、観光課の方には大変お世話になりました。

天気にも恵まれ、修道院を背にライトアップされた並木道を歩いた後は、昨年度同様、温かくておいしいココアも頂くことができました。多くの方の御支援や御協力を頂いて準備を行い、当日を迎えることができました。

素敵な時間と貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



### ■熟議「次年度のCSへ向けて、子どもたちの成長と地域の願い」

コミュニティ・スクールが始まり4年目、次年度のCSに向けて、子どもたちの成長と地域の願いをテーマに協議を行いました。

石別地区では児童生徒数の減少が進み、特認校制度の活用や学校行事を通じた地域連携の一層の強化が重要であることが共有されました。委員からは「子どもたちの笑顔を大切にしたい」という声や、トラピスト修道院のキャンドルづくりや自閉症啓発デーと連動したブルーキャンドルなど、地域資源を生かした新たな連携の提案がありました。教職員からは、地域の方との関わりが子どもたちの大きな学びや励みになっている一方、天候などの自然現象に左右されない活動や交流の在り方が今後の課題として挙げられました。また、運動会や清掃活動などを通して、小中学校や地域の子どもたち双方の成長が見られていることも報告されました。

今後は、保護者や地域ボランティアの参画による教職員の負担軽減や、活動の発信・発表、販売機会の創出を進め、学校・地域・保護者が重層的につながるCSのさらなる充実を目指していきたいと思っております。委員の皆様から頂いた御意見を今後の教育活動に生かして参ります。



今回の学校運営協議会では、事務局の他に、「Withプロジェクト」の各担当教員も参加し、参加できない教職員は職員室とオンラインでつなぎ様子を参観しました。これからも、多くの教職員がコミュニティ・スクールについて考え、共に参加・交流ができるよう工夫をしていきたいと考えています。年末のお忙しい中、学校運営協議会へ御出席いただきありがとうございました。

次回は令和8年2月25日(水)に、次年度の学校経営方針について御意見を頂く予定です。七飯養護学校本校部会と合同の開催となります。会場は、北斗市総合文化センターかなでーとなっております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

コミュニティ・スクールや学校と地域の連携・協働活動についての御質問や御意見等は、CS 担当 印牧(0138-75-2717)までお願いいたします。